

令和元年度 南丹地域リハビリテーション支援センター
研修会報告 「高次脳機能障害について知ろう」
テーマ ～ 失語症 ～

【日時】 令和元年 12 月 9 日(月)13：30～15：00

【場所】 京都中部総合医療センター 第2病棟5階講堂

【講師】 京都中部総合医療センター 佐々木知佳(言語聴覚士)、梶田宏司(理学療法士)

京都府リハビリテーション支援センター 宮崎陽子さま(臨床心理士)

南丹圏域の医療・介護・福祉の従事者を対象に研修会を行いました。講義の前半では高次脳機能障害とは何かを脳の基礎から説明しながら障害の全体像を学んで頂きました。そのうえで今回のテーマでもある失語症の障害の特徴や対応方法について講義が進んでいきました。

後半は高次脳機能障害の支援コーディネーターとして活動されている宮崎さまから相談窓口や地域資源の活用についてご紹介を頂き、今後地域での連携にも役立つような内容でした。

お忙しい中たくさんの方にご興味を持って参加頂き、ありがとうございました。



ケアマネ、介護職
を中心に 27 名の方に
参加頂きました

普段は支援者として関わらないけど、高次脳機能障害のある知人のことを理解するために参加したというご意見も頂きました。